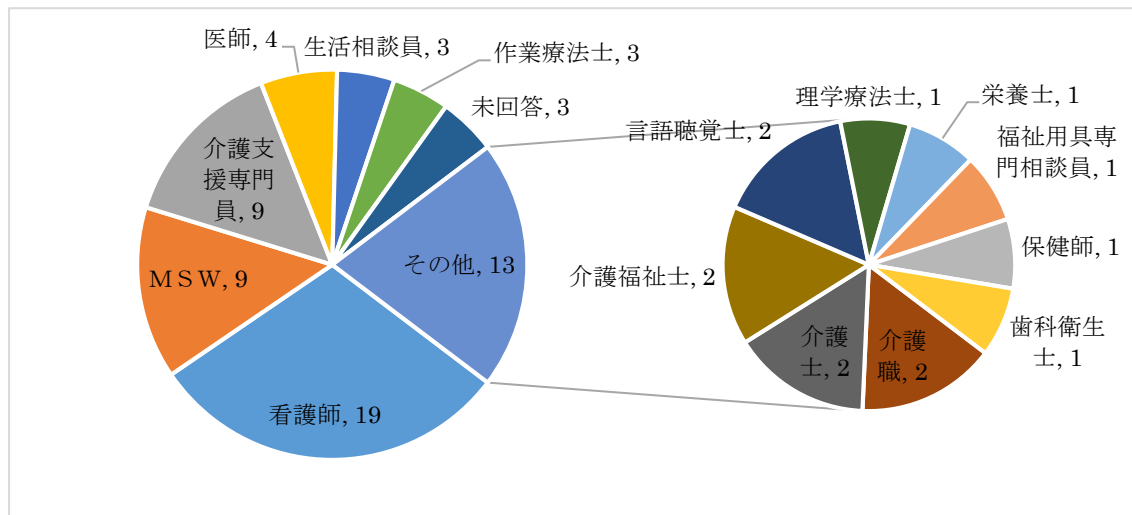


## アンケート結果（絆研修③）：平成29年10月15日

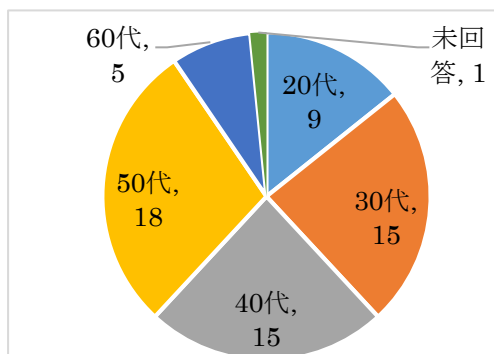
参加者70人 アンケート回収63人（回収率90%）

### ★参加状況

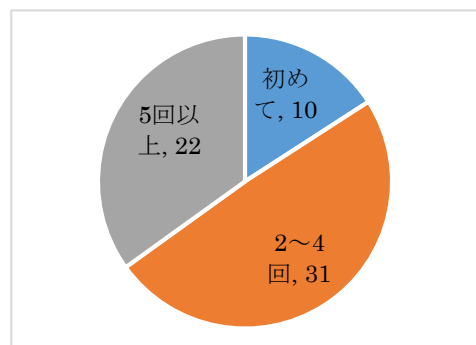
#### 1. 職種



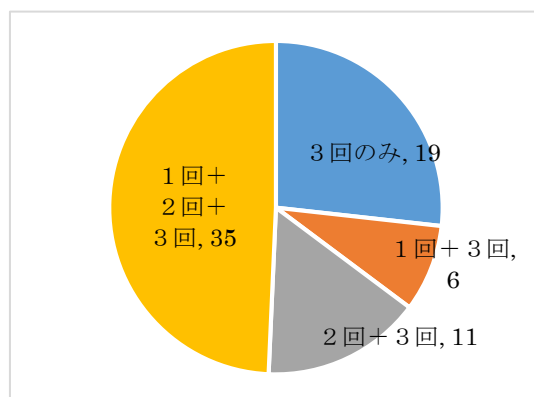
#### 2. 年齢



#### 3. 多職種研修参加回数

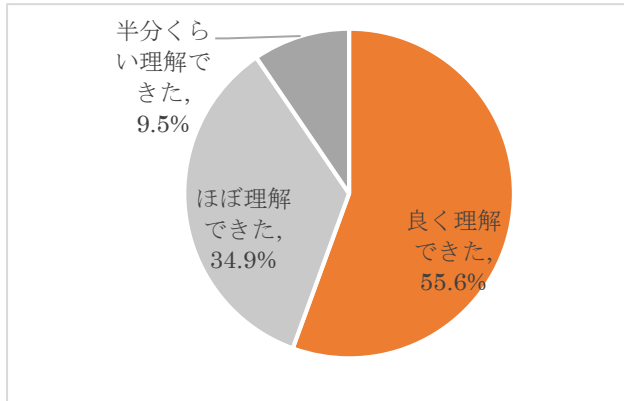


#### 4. 絆研修参加状況（参加者名簿から抽出）

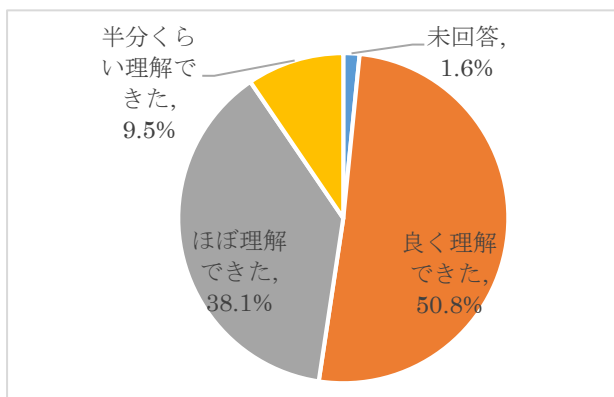


★研修の理解

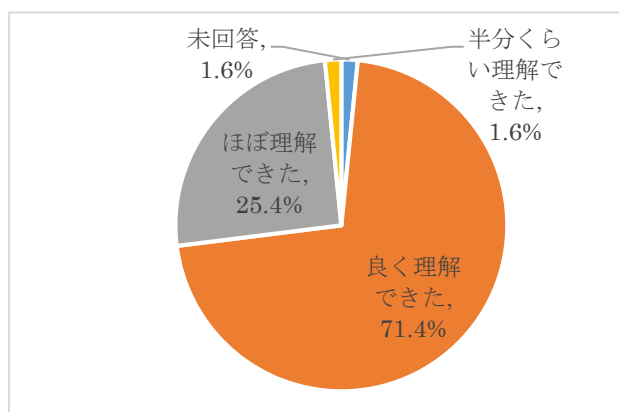
5. 摂食嚥下困難時の人工的・栄養補給について



6. 人生の最終段階における医療の意思決定プロセスについて



7. 人生の視点で本人、家族の希望や幸せに配慮することが大切である



★ 研修を全般的に評価

①研修時間		
評価	人数	
1 (長い)	5	
2	16	
3	41	
4	1	
5 (短い)	0	
	<b>63</b>	

②難易度		
評価	人数	
1 (難しい)	2	
2	11	
3	45	
4	4	
5 (やさしい)	1	
	<b>63</b>	

③積極的に参加できたか		
評価	人数	
1 (できた)	20	
2	18	
3	24	
4	1	
5 (できなかった)	0	
	<b>63</b>	

④ファシリテータの仕事ぶり		
評価	人数	
1 (よかった)	33	
2	18	
3	9	
4	3	
5 (悪かった)	0	
	<b>63</b>	

【自由記載】

★他職種連携について

1. 多職種でのグループ討議は、他職種の意見が聞けて大変有意義でした。
2. 多職種と話が出来て良かった。特にリハスタッフと。
3. 他施設、多職種の色々な意見が聞ける場なので良かった。大変勉強になった。
4. 難しいテーマを考えて行く事が多かったが、多職種で話をするとはとても意味のあることだと改めて思った。

※同様の意見多数あり

★その他意見

1. 本日のテーマは1、2回目と比べて難しいテーマであった。その分、皆さんの色々な意見をお聞きし、大変勉強になった。
2. 1、2回目より話しやすく色々な意見が出たと思う。
2. 段階に分けての研修会でとても分かり易かった。
3. 終末期のケアは非常に難しく、色々な経験が必要だと考えます。鳥取市全体としての人材スキルアップを続けていかななくては、と感じました。
4. 事例検討でより具体的にACPについて考える事が出来た。
5. 病院から在宅で看取りを考えて退院されるケースは、現状では退院支援の看護師が（今後の予後や医療行為の見通しがつくという点で）中心となって行っていますが、こういっ

た研修を重ねてMSWも関わって行けるようになっていきたいと思った。

6. アイスブレイクで緊張がほぐれた。多職種と混じれる機会は貴重だった。グループ人数がちょうどよかった。
7. とても貴重な研修を受講でき良かった。
8. 今後も研修会に参加し勉強して行きたい。
9. とても勉強になった。実際に活かせるようにしたいと思う。ありがとうございました。

#### ★改善点

1. 配布物が多いので番号が書いてあると分かり易い。
2. 話し合うテーマが漠然としていて内容が絞りがく、幅広い意見が出てまとめにくかった。ただ、とても勉強になった。
3. ディスカッション時間が長く感じた。
4. 午前中の研修はどうでしょうか。
5. トイレが混雑していてDVDが見られず残念だった。研修時間内に組み込まれていればよかった。
6. ネームプレートにミスがあったのは残念だった。(大変申し訳ございませんでした。:事務局より)

#### ★今後希望する研修

1. 具体的に在宅サービスを使ってどのように生活しておられるかわかる事例を参考にしたい。
2. 医療サービスから介護サービスへ移行して終りではなく、その後どのような生活が実際に待っているのか、どんなことが自宅で起こっているのか。例えば、退院が見え始めたときから自宅復帰されて3か月くらいまでの経過を追うような事例。
3. またこのような（別事例など）研修に参加したい。
4. それぞれの職種がより専門性を活かした発言ができるようなグループワークが良いのではないかと感じた。
5. 認知症の症状などについて。
6. 在宅の継続を困難とさせている現実があると思いますが、そのことについて皆さんのお話が伺えたらと思います。
7. 今回参加できなかった方もあると思うので、同内容であっても定期的な研修会が必要ではないかと思いました。
8. 在宅診療の適応、ACPの心得。
9. 入院中に主疾患は改善だが、身体状況は少し寝たきりや体位・座位が困難になる場合に、リハビリ～回復期リハビリに転院し2～3か月経過後に在宅がスムーズに行くような事例。または、悪化し療養へ転院となるような事例。